



## 2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月13日

上場会社名 株式会社インバウンドテック

上場取引所 東

コード番号 7031 URL <https://www.inboundtech.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 東間 大

問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO 専務執行役員 管理本部長 (氏名) 金子 将之 TEL 03-6274-8400

配当支払開始予定日 -

決算補足説明資料作成の有無：無

決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第1四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	648	△27.0	△13	-	△14	-	△25	-
2024年3月期第1四半期	887	5.2	95	△37.3	94	△37.5	65	△35.2

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 △24百万円 (-%) 2024年3月期第1四半期 64百万円 (△37.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	△10.44	△10.04
2024年3月期第1四半期	24.88	23.62

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	3,601	2,660	57.9
2024年3月期	3,777	2,682	55.8

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 2,083百万円 2024年3月期 2,108百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2025年3月期	-	-	-	-	-
2025年3月期(予想)	-	0.00	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,800	14.5	335	1.4	330	1.6	205	△1.6	78.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期1Q	2,618,400株	2024年3月期	2,616,600株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	150,162株	2024年3月期	150,162株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期1Q	2,467,922株	2024年3月期1Q	2,615,339株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(会計方針の変更に関する注記) .....	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	7
(セグメント情報等の注記) .....	8
(重要な後発事象) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、新型コロナウイルス感染症の影響による国内のインバウンド需要は急速な回復を見せております。マルチリンガルCRM事業における多言語分野に係る業務の受注及び入電数についても増加傾向にあるものの、前期まで大きな需要の柱となっていた新型コロナウイルス関連のスポット案件はシュリンクし、これに代わる柱を目指して前期より医師会及び健康保険組合の帳票作成代行等のヘルスケアBPO事業に取り組んでおります。しかしながら当該事業については成長途上であり、人材の採用活動費用及び人件費並びに事業拠点の整備に係る費用などについて先行支出が増加する形となりました。また、日本語案件である官公庁等の入札業務については、競合の参入増や係る人件費の高騰などから厳しい環境が続いております。

セールスアウトソーシング事業においては、主力業務であります訪問による東京電力グループの顧客向け営業業務が計画に近い形で進捗し、また、もう一つの主力業務であるソフトバンクモバイルにおける契約勧奨業務についても計画に近い形で推移しております。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は648,387千円（前年同期比27.0%減）、営業損失は13,955千円（前年同期 営業利益95,359千円）、経常損失は14,939千円（前年同期 経常利益94,301千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は25,775千円（前年同期 親会社株主に帰属する四半期純利益65,067千円）となりました。

	前第1四半期連結 累計期間（千円）	当第1四半期連結 累計期間（千円）
売上高	887,966	648,387
営業利益または営業損失（△）	95,359	△13,955
経常利益または経常損失（△）	94,301	△14,939
親会社株主に帰属する 四半期純利益または 親会社株主に帰属する 四半期純損失（△）	65,067	△25,775

セグメント別の状況は以下のとおりであります。また、各事業分野のセグメント利益は、全社管理部門費用108,215千円を含まない額であります。

## ・マルチリンガルCRM事業の概況

マルチリンガルCRM事業におきましては、日本語を含む13言語を活用し、外国人と日本人のコミュニケーション問題を解決する多言語・通訳ソリューションを24時間365日体制で提供しております。

コロナ禍以降長らく低迷していた多言語によるサポートニーズですが、訪日外国人観光客の増加に伴い、当第1四半期連結累計期間については、入電数や新規案件の引き合い増など、インバウンド関連は回復基調に入っております。しかしながら、BtoB市場におけるインバウンド関連の本格的な需要増及び業績への具体的な寄与につきましては途上であると認識しております。また、前期まで大きな需要の柱となっていた新型コロナウイルス関連のスポット案件のシュリンクに伴い、前期より医師会及び健康保険組合の帳票作成代行等のヘルスケアBPO事業に取り組んでおりますが、当該事業については成長途上であり、人材確保に伴う採用コスト増、人件費や事業拠点の整備に係る費用が先行して発生したことから支出が増加する形となりました。また、日本語案件である官公庁等の入札業務については、競合の参入増や係る人件費の高騰などから厳しい環境が続いております。

以上の結果、マルチリンガルCRM事業全体では、売上高は433,552千円（前年同期比36.1%減）、セグメント利益は69,673千円（同61.4%減）となりました。

	前第1四半期連結 累計期間（千円）	当第1四半期連結 累計期間（千円）
売上高	678,546	433,552
セグメント利益	180,296	69,673

・セールスアウトソーシング事業の概況

セールスアウトソーシング事業では、主に当社がクライアント企業に代わって見込みユーザーに対してインサイドセールス等を行っております。当第1四半期連結累計期間については、主力業務であります訪問による東京電力グループの顧客向け営業業務が計画に近い形で進捗し、また、もう一つの主力業務であるソフトバンクモバイルにおける契約勧奨業務についても計画に近い形で推移したことから売上・利益共に前年同期を上回る結果となりました。

以上の結果、セールスアウトソーシング事業全体では、売上高は216,392千円（前年同期比3.2%増）、セグメント利益は24,587千円（同24.0%増）となりました。

	前第1四半期連結 累計期間（千円）	当第1四半期連結 累計期間（千円）
売上高	209,598	216,392
セグメント利益	19,832	24,587

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、主に現金及び預金並びに売掛金が減少し、さらに固定資産の償却が進んだことから前連結会計年度末と比較して176,172千円減少し、3,601,693千円となりました。これは流動資産が160,624千円減少し、固定資産が15,547千円減少したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、主に買掛金、未払金及び未払法人税等並びに長期借入金が減少したことから、前連結会計年度末と比較して153,576千円減少し、941,656千円となりました。これは流動負債が125,583千円減少し、固定負債が27,992千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、利益剰余金の減少等により前連結会計年度末と比較して22,596千円減少し、2,660,036千円となりました。これは主に利益剰余金が25,775千円減少、新株予約権が1,733千円増加し、非支配株主持分が788千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の業績につきましては、2024年5月14日及び2024年5月27日（訂正後）2024年5月14日に公表いたしました業績予想に変更はありません。今後、業績予想の修正の必要性が生じた場合は速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,701,535	1,631,992
売掛金	535,430	440,409
その他	45,822	49,761
貸倒引当金	△330	△330
流動資産合計	2,282,457	2,121,833
固定資産		
有形固定資産	143,090	144,167
無形固定資産		
のれん	633,955	611,462
顧客関連資産	317,750	307,500
その他	200,281	226,031
無形固定資産合計	1,151,987	1,144,994
投資その他の資産	200,330	190,698
固定資産合計	1,495,408	1,479,860
資産合計	3,777,866	3,601,693
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	132,890	89,954
短期借入金	300,000	300,000
1年内返済予定の長期借入金	144,000	144,000
未払法人税等	44,529	8,218
賞与引当金	1,800	900
その他	218,986	173,549
流動負債合計	842,206	716,623
固定負債		
長期借入金	252,000	216,000
資産除去債務	1,026	1,029
その他	—	8,004
固定負債合計	253,026	225,033
負債合計	1,095,233	941,656
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	547,696	548,024
資本剰余金	582,784	583,113
利益剰余金	1,168,121	1,142,346
自己株式	△189,710	△189,710
株主資本合計	2,108,891	2,083,772
新株予約権	19,407	21,141
非支配株主持分	554,333	555,122
純資産合計	2,682,632	2,660,036
負債純資産合計	3,777,866	3,601,693

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	887,966	648,387
売上原価	655,068	516,475
売上総利益	232,898	131,911
販売費及び一般管理費	137,538	145,866
営業利益又は営業損失(△)	95,359	△13,955
営業外収益		
雑収入	—	140
その他	2	9
営業外収益合計	2	149
営業外費用		
支払利息	1,059	1,134
営業外費用合計	1,059	1,134
経常利益又は経常損失(△)	94,301	△14,939
特別損失		
固定資産除却損	290	—
特別損失合計	290	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	94,011	△14,939
法人税、住民税及び事業税	29,717	2,586
法人税等調整額	△490	7,460
法人税等合計	29,226	10,046
四半期純利益又は四半期純損失(△)	64,785	△24,986
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△282	788
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	65,067	△25,775

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	64,785	△24,986
四半期包括利益	64,785	△24,986
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	65,067	△25,775
非支配株主に係る四半期包括利益	△282	788



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。

これらによる四半期連結財務諸表への影響はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれん及び顧客関連資産を除く無形固定資産に係る償却費を含む。)、のれんの償却額及び顧客関連資産償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	14,567千円	24,631千円
のれんの償却額	22,269	22,492
顧客関連資産償却額	10,249	10,249

(セグメント情報等の注記)

## I 前第1四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	マルチリンガル CRM事業	セールスアウト ソーシング事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	678,368	209,598	887,966	—	887,966
セグメント間の内部売上高 又は振替高	178	—	178	△178	—
計	678,546	209,598	888,144	△178	887,966
セグメント利益	180,296	19,832	200,129	△104,769	95,359

(注) 1. セグメント利益の調整額△104,769千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自2024年4月1日至2024年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	マルチリンガル CRM事業	セールスアウト ソーシング事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	431,994	216,392	648,387	—	648,387
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,558	—	1,558	△1,558	—
計	433,552	216,392	649,945	△1,558	648,387
セグメント利益	69,673	24,587	94,260	△108,215	△13,955

(注) 1. セグメント利益の調整額△108,215千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (重要な後発事象)

## (譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分)

2024年7月16日開催の取締役会において決議されました、譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分に関し、2024年8月9日に払込手続が完了いたしました。自己株式の処分の概要は以下のとおりです。本件の詳細につきましては、2024年7月16日付「譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分に関するお知らせ」及び2024年8月9日付「譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分の払込完了に関するお知らせ」をご参照ください。

## 自己株式の処分の概要

(1) 処分する株式の種類及び数	当社普通株式 24,037株
(2) 処分価額及び処分総額	本自己株式処分は、当社の取締役の報酬等として当社の普通株式を処分するものであり、当該普通株式と引換えにする金銭の払込み、又は財産の給付は要しないこととします。(※) ※ 当該普通株式の公正な評価額は、2024年7月16日開催の取締役会の前営業日(2024年7月12日)における東京証券取引所における当社の普通株式の終値(1,040円)に上記の処分する株式数を乗じた金額(24,998,480円)です。
(3) 割当先	当社の取締役3名 24,037株 ※社外取締役を除く。
(4) 割当日	2024年8月9日